

平成31年度 科学技術関係予算の概要

平成30年9月12日

総務省国際戦略局

平成31年度 総務省科学技術関係予算の概要

単位：億円

	平成31年度概算要求 (①)		平成30年度 当初予算 (②)	前年度比 (① - ②)
		うち要望枠		
科学技術関係予算	1155.1	233.9	991.2	+163.8

※四捨五入の関係で、合計額が一致しない。

《 要求のポイント 》

- 総務省では、①AI技術の飛躍的展開、②ネットワーク技術の更なる高度化、③新たなイノベーションの創出等を目指し、ICT分野における研究開発を推進

《 主な重点施策 》

① AI技術の飛躍的展開

多言語音声翻訳の精度向上及び社会実証、脳情報通信技術に係るアプリケーション開発等を通じて、AI技術の向上と社会実装を促進

＜グローバルコミュニケーション計画の推進＞

- 世界の「言葉の壁」をなくしグローバルで自由な交流を実現する「グローバルコミュニケーション計画」を推進するため、「多言語音声翻訳技術」の対応言語等の拡大及び精度向上に向けた研究開発を行うとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた円滑な社会実装のための取組を病院・商業施設・観光地等において実施する。

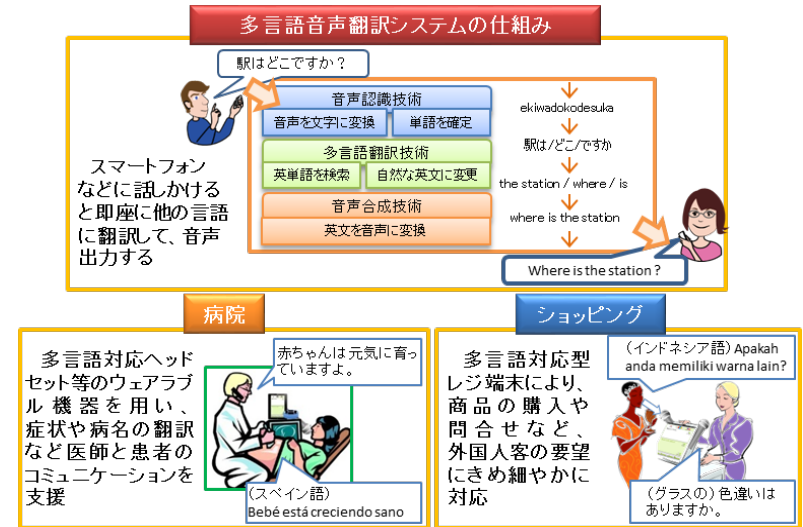
平成31年度概算要求・要望額 8.2億円(平成30年度予算額 7.0億円)
 国立研究開発法人情報通信研究機構運営費交付金
 平成31年度概算要求・要望額 295.5億円の内数
 (平成30年度予算額 280.3億円の内数)

＜新たな脳情報通信技術の研究開発及び社会実装＞

- 脳情報通信分野に係る競争的資金を新設し、応用研究領域の拡大と社会実装に向けた取組を加速する。

平成31年度概算要求・要望額 2.1億円(新規)

グローバルコミュニケーション計画の推進



新たな脳情報通信技術の研究開発及び社会実装



《 主な重点施策 》

② ネットワークの更なる高度化

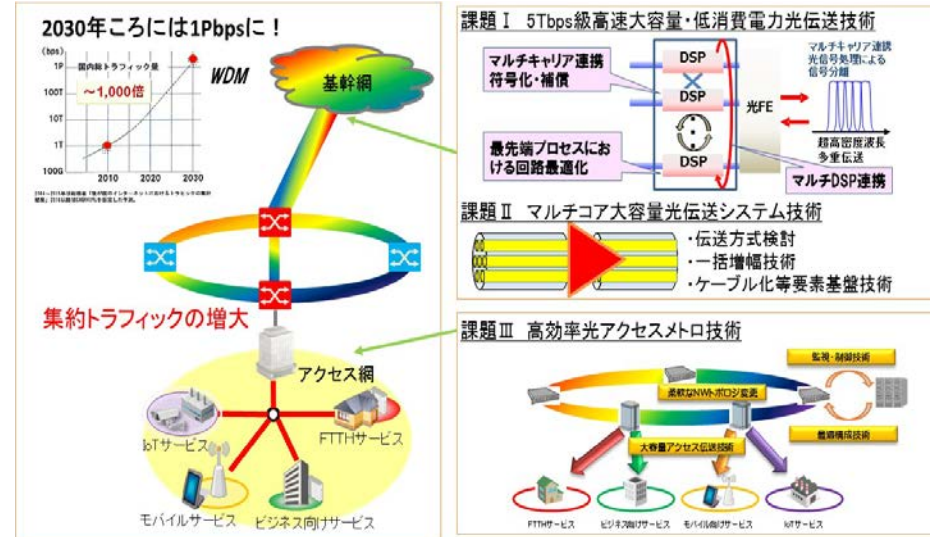
AI/IoT時代の高速大容量通信ネットワークの基盤となる光ネットワーク技術、ネットワーク自動最適制御技術(AIを活用)等の研究開発を推進

＜新たな社会インフラを担う革新的光ネットワーク技術の研究開発＞

- ・ AI/IoT等の普及、超高精細映像の流通の増加等によって急速に増大する通信トラフィックに対応するため、高速大容量、低消費電力で柔軟な接続を可能とする光ネットワーク技術の研究開発を推進する。

平成31年度概算要求・要望額 11.0億円(平成30年度予算額 9.5億円)

新たな社会インフラを担う革新的光ネットワーク技術の研究開発

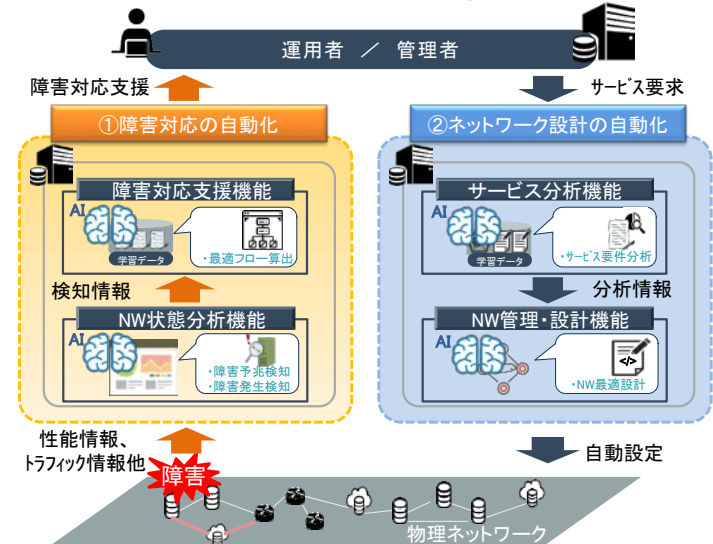


＜革新的AIネットワーク統合基盤技術の研究開発＞

- ・ Society5.0時代における通信サービス要件の多様化(多数同時接続、超低遅延、等)、ネットワークの複雑化等に対応するため、AIを活用したネットワーク運用の高度化等を実現する技術の研究開発を推進する。

平成31年度概算要求・要望額 7.0億円(平成30年度予算額 5.4億円)

革新的AIネットワーク統合基盤技術の研究開発



《 主な重点施策 》

③ 新たなイノベーション創出

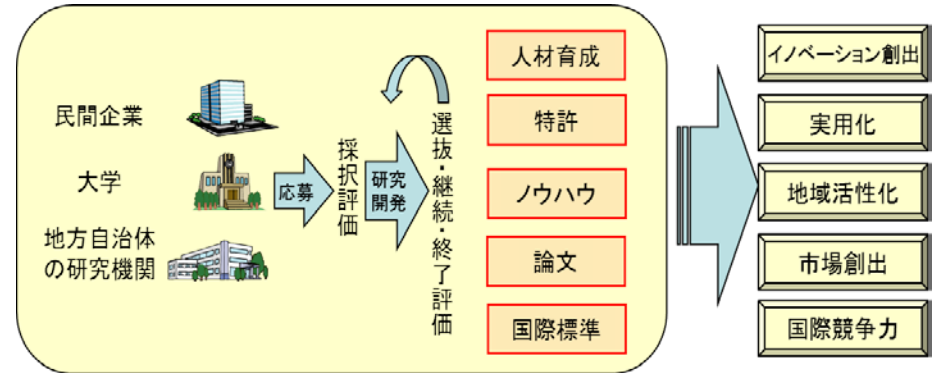
ICT分野における新規性に富む研究開発課題への挑戦、ベンチャー企業等が「死の谷」を乗り越えるための取組み等を支援

＜戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）＞

- ・ ICT分野における新規性に富む研究開発課題への挑戦を支援する競争的資金を設け、新たな価値創造が期待される研究開発の技術実証や社会実装、若手ICT人材の育成、国際標準獲得、及び奇想天外で野心的な技術課題への挑戦等を支援する。

平成31年度概算要求・要望額 18.7億円（平成30年度予算額 15.5億円）

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）



※国際標準獲得型研究開発は外国研究機関との連携で実施

＜ICTイノベーション創出チャレンジプログラム＞

- ・ ICT分野において我が国発のイノベーションが創出されるよう、ベンチャー企業や大学等が新技術の事業化に向け「死の谷」を乗り越えるためのプロトタイプ製作、実証、ビジネスモデル検証等の取組みを支援する。

平成31年度概算要求・要望額 4.0億円（平成30年度予算額 2.6億円）

ICTイノベーション創出チャレンジプログラム

【事業イメージ】

